

高齢社会の現状

- 1 「高齢者」像の変遷：平均寿命の伸びと高齢者の単身あるいは夫婦のみ世帯の増加
- 2 個人的差異の拡大：健康状態や就労の有無による違いが大きく、高齢者の8割以上が健常者であることから、健全な高齢者を含めた社会全体が高齢弱者を支えるべき
- 3 成長市場としての高齢者層：関連する業種が幅広く、社会貢献の域を越え、進出を本格化すべき成長市場
- 4 持続可能な対応策の構築：高齢者人口の増加は今後20～30年でピークを迎えることを踏まえ、持続可能な住宅・まちづくりが重要

高齢社会のあるべき姿

住まい

1 多様化する住宅ニーズの充足

- ・寿命の伸びでニーズが多様化
- ・供給不足状態の解消が急務

2 バリアフリー化の促進

- ・支援策の拡充・周知

3 住み替えの円滑化

- ・ライフステージに適した住まいへの住み替え促進

- ・既存ストックの有効活用による中古住宅市場の活性化

4 施設系と住宅系でバランスの取れた整備

- ・需給不均衡の是正に向けた総量規制の緩和

- ・在宅サービスの充実

5 選択肢の整理

- ・利用者視点による分かりやすい選択肢の提示

まちづくり

1 バリアフリー化とコンパクト化の推進

- ・まち全体のバリアフリー化
- ・地域包括ケアの実現に向けた都市構造のコンパクト化

2 まちの多面的価値の活用

- ・地域内での世代交代による持続的なまちづくり

- ・エリアマネジメントの促進

3 元気高齢者の活用によるコミュニティの維持・再生

- ・地域全体での孤独死防止
- ・交流・活躍の場を提供することで高齢者の健康増進
- ・複数世代の相互交流による活力増強
- ・健康増進と予防医療サービスの提供により健康長寿のまちを実現

サービス

1 シームレスかつワンストップなサービス提供

- ・中心的役割を果たす主体の存在

2 分野別の課題

① 介護・医療

- ・人手・施設不足を補う民間活用
- ・海外人材活用

② 流通・小売

- ・官民連携や規制緩和による買い物弱者対策

③ 交通

- ・安心・安全な移動手段の確保による外出の障害排除

④ 金融

- ・リバースモーゲージ等の普及に向けた制度改善

実現への方策

国の役割～安定した制度の構築

国が高齢社会対応の軸足を定め、国民全体で共有したグランドデザインの下で、省庁間、中央と地方、自治体間で分断されることのない安定した制度構築・運営が不可欠

地方自治体の役割～多様な主体の連携

地元に着目した地方自治体が地域における高齢社会対応の全体像を描き、官民の垣根を越えて多様な主体を効率的に繋ぐ役割を果たすべき

官民の適切な役割分担

公的にはセイフティーネットを整備した上で、支援策や規制緩和を通じて民間の力を最大限に活用することにより、持続可能な取り組みに繋げるべき

今後の課題

高齢者ビジネスの海外展開

世界で急速に進む高齢化に対し、国内で得られた知見を活用

検討の深掘りと対話の拡大

多岐にわたる関連分野の課題解決策の検討と多様な主体との対話による連携